

(公) 日本技術士会 近畿本部 建設部会 主催

平成30年度 第3回 近畿本部 建設部会 例会のご案内

【建設系 CPD 協議会認定予定】

第3回「建設部会 例会」を下記のとおり開催いたします。建設部会員の皆様、建設部会員以外の方、非会員の方々の、多数のご参加をお待ちいたしております。

※ 近畿本部 建設部会では平成30年度から例会方式を導入しております。

（日本技術士会に未入会の方、一般の方も参加することができます。）

記

主 催：公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 建設部会

日 時：平成31年2月6日（水） 18:30～20:30

場 所：公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 会議室（大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館ビル2階）

募集定員：30名

話題提供①：「建築基準法とまちづくり」 豊中市 都市計画推進部 中高層建築調整課 課長 大野一成

話題提供②：「夢と魅力ある建設コンサルタント産業を目指して」

（一社）建設コンサルタンツ協会近畿支部 技術部会長 久後雅治
（協和設計株式会社 代表取締役社長）

参加費：建設部会員・準会員・協賛団体所属（1口1名）500円、非会員（左記以外の方）1,000円

懇親会：珉珉 本町店 20:40～ 懇親会費：2,500円

申込期限：平成31年2月4日（月） ※定員になり次第締め切ります。

平成30年度 第3回「建設部会例会」参加申込書

平成 年 月 日

氏名	
所属	
E-mail	
<p>※ 選択して記述ください。</p> <p>【 懇 親 会 参 加 ・ 不 参 加 】</p> <p><input type="checkbox"/> 建設部会員（準会員含む） <input type="checkbox"/> 協賛団体所属 <input type="checkbox"/> その他部門の会員 <input type="checkbox"/> 非会員</p> <p><input type="checkbox"/> 技術士（.....部門） <input type="checkbox"/> 技術士第1次試験合格者（.....部門）</p> <p><input type="checkbox"/> その他の資格（.....）</p>	

【申込み先】公益社団法人日本技術士会近畿本部建設部会副部会長 河野千代

E-mail：kouno@hisamotogumi.co.jp

FAX：06-6692-0478 Tel：080-2483-7646

講演概要

話題提供①：「建築基準法とまちづくり」 豊中市 都市計画推進部 中高層建築調整課 課長 大野一成

我が国は戦後、物質的な豊かさを求め、大量生産、大量消費の社会システムを構築してきた。

まちづくりにおいても、高度成長期、都市に集中する人口の受け皿として千里ニュータウンなどの新しいまちの開発が行われ、画一的な住宅を大量に供給してきた。

また、駅前の再開発等においても同様に箱物行政といわれるような行政を行った結果、「何処の駅を降りても同じ」といわれる景観がつくられている。

その頃の地方自治体は、国の方針に沿って行う「機関委任事務」によって、全国一律のまちづくりが進められていたが、人々の「価値観の多様化」や、「量より質」を求める意識の変化を受け、平成12年に地方分権一括法が施行された。

それにより、地域特性を活かした住民主体のまちづくりを行うことが可能となったが、その後も、商店街にはシャッター通りができ、住宅地には空き家が目立つようになってきている。

現在の人口減少、少子・高齢化、行政の厳しい財政状況において、いかにしてまちづくりを進めていけばいいのか？その主体は？

豊中市のまちづくりの歴史と取組みを例に、建築基準法を軸にしたお話をいたします。

話題提供②：「夢と魅力ある建設コンサルタント産業を目指して」

(一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部 技術部会長 久後雅治
(協和設計株式会社 代表取締役社長)

建コン近畿支部は、建設コンサルタント産業を夢と魅力あるものにしていきたいと考えています。それを推進しているのが近畿支部独自のユニークな委員会活動です。委員は本来の業務の傍ら、手弁当でマジメに活動に取り組んでいます。

まず初めにご紹介するのは、「建コン魅力発信委員会」です。学生に建コンの魅力をPRするのが主な任務です。その活動の一つに『CM 総選挙』があります。技術者が自作自演で建コンの魅力をアピールするCMを製作、研究発表会会場で応募のあったCM作品を上映し、来場者の投票によりその場で優秀作品を選びます。今回は今年度の最優秀賞の作品を見ていただきます。60秒に込められた建コン技術者の思いをご覧ください。(YOU TUBE 上映)

建設業界の担い手不足は深刻です。「橋の魅力発信プロジェクト」は、橋の魅力を一般の人に発信し、橋梁業界の入職者を増やそうという取り組みです。建コン協、橋建協、PC建協の3協会コラボは史上初。そしてプロジェクトメンバーが選んだツールがInstagramです。現在フォロワーは約2500人で学生、橋マニアに向けたマニアックな専門用語で橋のレシピを発信中です。(Instagram閲覧)

建コン協会の働き方改革は待ったなし。この問題に取り組んでいるのが、「働き方研究委員会」です。ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる人、目標に向かって頑張っている人などを紹介、また経営者とのパネルディスカッションなど様々な手法で働き方改革を推進中です。

最後は、「道路研究委員会」が作成した提言「関西の明日を創造するプロジェクト2050」～建設コンサルタント技術者集団によるYUME KOKUDO 2050～をご紹介します。道路等の社会資本の意義を理解し、国民の視点に立ち、積極的に国土インフラのあるべき姿を提案しています。

特に広報には力を入れており、先日国土交通省の森昌文事務次官に提言を行いました。